

平成22年度事務事業評価の結果概要

事務事業評価システムに基づいて評価した結果、197の事務事業、56の補助金を見直して、一般財源ベースで20億円の財源を確保しました。

1 事務事業評価システムとは

事務事業評価システムは、当初予算に計上された事務事業について、その有効性をできる限り客観的な指標を用いて評価するシステムです。

評価の結果、十分な成果を伴わないと判断した事務事業については、事業の大胆な見直しやスクラップを実施します。

2 評価の結果（集計表）

単位：件、千円

	件数	事業費	うち一般財源
廃止	100	1,542,147	1,516,946
うち補助金	36	1,204,574	1,015,321
縮減	97	489,450	482,637
うち補助金	25	86,699	86,699
計	197	2,031,597	1,999,583
うち補助金	56	1,446,170	1,429,686
(参考) 21年度	195	9,958,850	2,013,808
うち補助金	66	871,679	496,999

注) 廃止事業には休止した事業を含みます。

3 評価対象事業数

単位：件

総数	2,051	一般会計	特別会計	企業会計	※見直しを行った事業はすべて一般会計
		2,026	16	9	

注) 同一カルテ内に複数の事業がある場合があり、カルテの件数とは合致しません。